



給食だより




学校給食の歴史を知ろう～1月24日は給食記念日

1月24日は学校給食記念日、1月24日から30日は学校給食週間です。

学校給食は昔から このように豊かなものだったわけではありません。学校給食の歴史をふりかえり学校給食の大切さを改めて認識してもらいたいと思います。

明治22年 (1989年)	山形県、鶴岡市の忠愛小学校で、お弁当を持ってくることができない子ども達のために学校で調理した食事を出したのが給食のはじまり。メニューはおにぎり、焼き魚、つけものでした。	
昭和7年 (1932年)	学校にお弁当を持ってくることができない子どもや体の弱い子どもを救うために、全国で国の補助をうけた給食が始まりました。	
昭和18年 (1943年)	戦争がはげしくなり、食べ物が少なくなりました。給食も中止せざるを得なくなりました。	
昭和21年 (1946年)	戦争が終わり、外国から「脱脂粉乳」や「小麦粉」「缶詰」が送られてきました。これらを使って、東京都・神奈川県・千葉県の学校で、12月24日に試験的に給食が再開されました。 この12月24日が戦後の給食開始の記念日となりましたが、冬休みになるため、1か月後の1月24日を「給食記念日」としました。	
昭和22年 (1947年)	1月20日、全国都市の子ども達 約300万人に対して、学校給食が開始。脱脂粉乳(粉ミルク)は、ララ(アジア救援公認団体)からの寄贈品です。缶詰をつかったシチューなども提供されました。	
昭和24年 (1949年)	ユニセフ(国際連合児童基金)からミルクの寄贈を受け、「ユニセフ給食」がはじまりました。	
昭和25年 (1950年)	7月に、大都市の小学校で、アメリカからおくられた小麦粉を使った給食がはじまりました。これが「パン給食」のはじまりです。 この年の12月、文部省(現;文部科学省)から「全国学校給食週間」開催が通知されました。	

(我孫子市の学校給食の歴史)

昭和38年 (1963年)	我孫子市では我孫子第一小学校と布佐小学校で「完全給食」が開始。	
昭和39年 (1964年)	湖北小学校・湖北中学校で親子方式による給食開始。 (昭和50年に湖北中学校移転のため、中止。)	
昭和50年 (1975年)	我孫子市で「米飯給食」がはじまりました。 全国的にもこの頃から給食にご飯が登場します。	
平成5年 (1993年)	白山中学校給食開始。(それまで中学校はミルク給食でした。) 我孫子市内の中学校で最初の「完全給食」の開始です。 その後、順に中学校の給食が開始されました。	
平成14年 (2002年)	我孫子産野菜を給食に導入。 (平成22年には市内19校すべてに我孫子産野菜が導入されました。)	
平成18年 (2006年)	我孫子産コシヒカリを給食に100%導入。 (平成22年から週3.9回を目安に米飯給食を実施できるようになりました。)	